

平成 19 年度情報倫理プロジェクト報告
 高校生（1 年次）の著作権に関する意識について

1. はじめに

(1) アンケート調査について

県内公立高等学校の情報科担当教諭による著作権に関する授業に伴って、平成 19 年 11 月に実施されたアンケート調査（4 クラス 156 名対象）を基に、授業前と授業後における高校生の著作権に関する意識についてまとめた。この結果、授業後には生徒の著作権意識に明らかな向上が見られた。

なお、本調査は、石川県教育センターが主催する「情報倫理プロジェクト」の平成 19 年度の成果である。

(2) 情報モラル教育における著作権の系統的指導について

情報モラル教育を大目標・中目標レベルで分類・整理し、指導モデルとして示された資料が図表 1 である。石川県教育センター作成のものと社団法人日本教育工学振興会（JAPET）作成のものを引用した。両者ともほぼ同時期の作成であり、公開も平成 19 年度の初頭と共通している。

図表 1 高等学校段階での著作権の指導モデル

① 情報モラルの指導資料・系統表より一部抜粋（石川県教育センター）	
指導課題	高等学校
著作物などの利用のルールと法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ○著作権・肖像権は作者や本人が持つ基本的な権利であることを理解し、尊重することの重要性を理解する ○著作権を法律と関連付けて理解し、不正な使用は違法行為であることを認識するとともに、適切な手続きを経て使用することができる
② すべての先生のための「情報モラル」指導実践キックオフガイド・ 情報モラル指導モデルカリキュラム表より一部抜粋（社団法人日本教育工学振興会）	
分 類	高等学校
1. 情報社会の倫理	<ul style="list-style-type: none"> b5-1：個人の権利（人格権、肖像権など）を理解し、尊重する b5-2：著作権などの知的財産権を理解し、尊重する
2. 法の理解と遵守	<ul style="list-style-type: none"> c5-1：情報に関する法律の内容を積極的に理解し、適切に行動する c5-2：情報社会の活動に関するルールや法律を理解し、適切に行動する

ここから情報モラル教育における高等学校段階での著作権指導として、以下のことが大切であると考えられる。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・著作権や肖像権などの作者や個人が持つ権利を理解し、尊重すること ・著作権、その他の情報に関するルールや法律の内容を理解し、適切に行動すること |
|--|

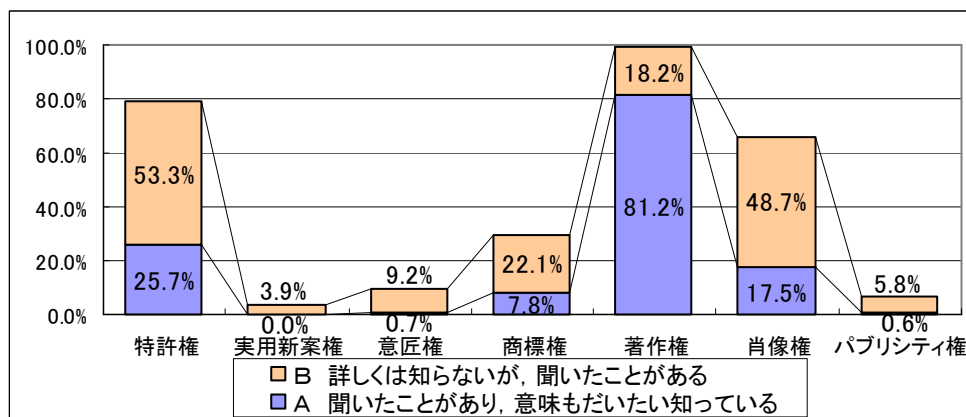
2. 授業前のアンケートから

(1) 高校生の知的財産権に関わる権利の認識度

授業前のアンケートで、知的財産権のうち「著作権」は、「A 聞いたことがあり、意味もだいたい知っている」が 81.2%を占め、「B 詳しくは知らないが、聞いたことがある」とあわせると 99.4%となり、他と比較してもその認識度が高いことが分かった。

また、いわゆる産業財産権うち、「特許権」は「A」「B」の割合が 79.0%と認識度が高いが、「実用新案権」「意匠権」「商標権」については認識度が低いということが分かった。（図表 2）

図表 2 知的財産権に関わる権利の認識度（回答数 154 名）



(2) 高校生の著作権に関わる行為の経験度

① アンケートの内容

高校生にとって経験があると思われる、著作権に関わるいくつかのケースについて、その経験度を測るアンケート調査を実施した（図表 3）。当初、アンケートの選択肢は、回答がしやすいとの理由で「してもよい」「してはいけない」と知識を問う形にすることも考えられたが、授業の進展に沿って生徒が自らの経験をもとに考えることが望ましいとの思いから「したことがある」「したことがない」と経験の有無を問うことにした。

図表 3 高校生の経験度を測るためのアンケート

以下の各項目について、「A したことがある」「B（しようと思えばできたが）したことがない」「C そのような行為を経験したことがない」で教えてください。

- ① () 友達に借りた CD や DVD を、自分用にコピーしたことがある(コピーしたものをももらったことがある)
- ② () コンサートで、無断で録音や録画をしたことがある
- ③ () Web ページに掲載された写真やイラストを、自分の Web ページでも利用したことがある
- ④ () 問題集やテキストをなくしたので、コピーして使ったことがある
- ⑤ () 海賊版とわかっている CD や DVD を購入したことがある
- ⑥ () 偽ブランド品とわかっている財布やバック等を購入したことがある
- ⑦ () コピーガードがかかっている CD や DVD をコピーしたことがある
- ⑧ () ファイル交換ソフトを使って、CD や DVD の音楽や動画を配信した(ダウンロードした)ことがある
- ⑨ () 感想文や作文を書くとき、Web ページに書かれている文章や友達の記事を利用したことがある
- ⑩ () キャラクターのイラストを自分で描いて、Web ページに掲載したことがある
- ⑪ () Web ページ等に、誰が写っているか特定できる写真を、本人の了解なしに掲載したことがある
- ⑫ () CD や DVD の音楽や動画を、Web ページに公開したことがある

② アンケート結果について

生徒の著作権に関わる行為の経験度を図表4に整理し、授業に対する目当てをつけた。

生徒が「A したことがある」と回答した割合が最も高いものは、「①CD (DVD) のコピー (コピーをもらうことも含む)」の64.3%、続いて「④問題集やテキストのコピー」の55.8%であった。

授業などで①、④などのケースを取り扱う場合は、「私的使用のための複製」にあたるかどうか、コピーをしてもよい記録方式であるか (⑦のケース) などを法律の理解を通して、考えさせる必要があると思われる。

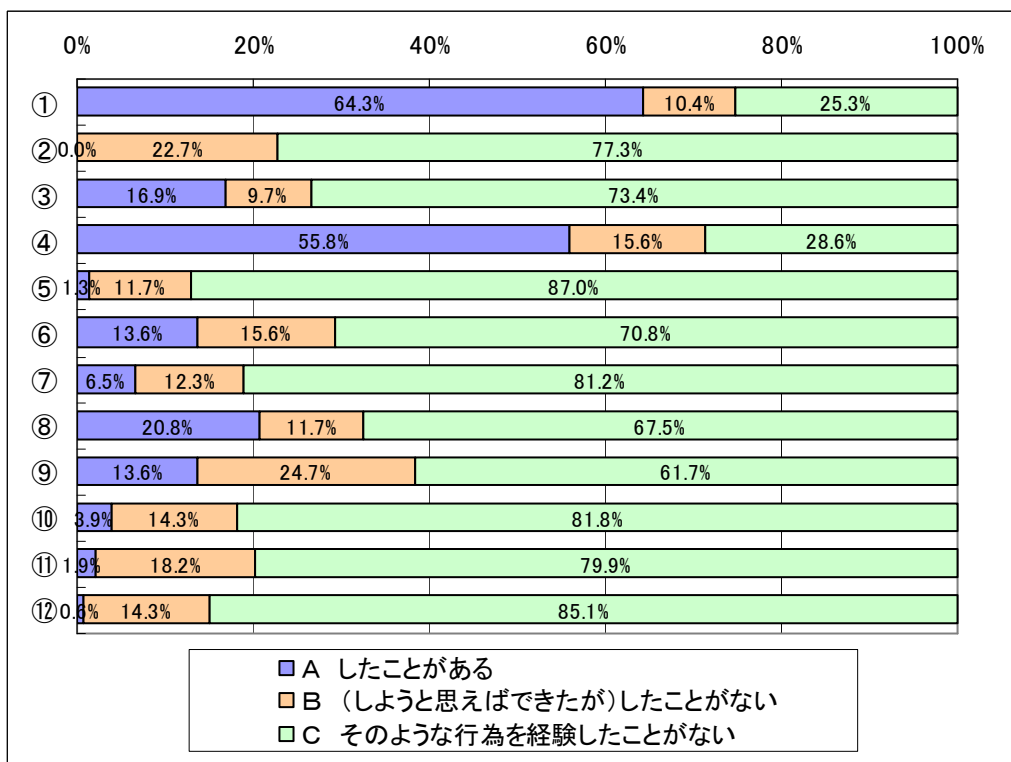
また、「③Web 上にある写真やイラストの自己 Web での利用」及び「⑨Web 上にある文章や友達の記事の感想文への利用」はそれぞれ16.9%と13.6%であり質問項目の中では割合が高かった。

このようなケースからは、著作物の使用について適切に行動する態度や他者の権利を尊重する態度を身につけさせたい。

20.8%と予想以上に高い値を示したのは、「⑧ファイル交換ソフトを使った配信 (ダウンロード)」である。この値は今後も増加していくことが予想され、看過できない。著作権意識の育成に努めるとともに、その違法性や危険性も視野に入れた指導が必要であろう。

さらに、「⑥偽ブランド品の購入」も13.6%と高い値であり、学校の実態によっては、商標権などの産業財産権も含めた指導が考えられる。

図表4 著作権に関わる行為の経験度 (回答数154名)



3. 授業後のアンケートから

(1) 著作権についての授業後の生徒の考えや態度について

① アンケートの内容

授業前アンケートを受けて、著作権に関する授業を受けた後の考えや態度についてアンケートを実施した (図表5)。

図表5 授業を受けた後の考えや態度についてのアンケート

授業（著作権に関すること）を受けた後のあなたの考えや態度について、当てはまるものに○を付けてください（複数回答可）。

- (1) () CDにある音楽をコピーするときは、自分で使うものかどうかなどを踏まえ、慎重に行おうと思った ①⑦
- (2) () コンサートやイベント会場では、禁止されている行為を確認した上で、慎重に行動しようと思った ②
- (3) () 他人が創作した著作物を自分のために使いたいときには、許可を得て使うことが必要だと思った ③⑨⑩⑫
- (4) () 身の回りにある著作物について意識し、著作権を尊重したいと思った。④⑩
- (5) () 財布やバッグ、映画のDVD等は、偽ブランドや海賊版でなく正規のものを購入したいと思った ⑤⑥
- (6) () 著作権に気をつけないと、自分も知らないうちに著作権違反をしてしまうかもしれないと思った ⑦⑧⑩
- (7) () Web ページにある文章や画像をコピーして自分のレポートなどに使用することは、慎重に行おうと思った ③⑨
- (8) () デジカメや携帯のカメラで撮影した写真を印刷して配ったり、Web ページに掲載したりすることは、慎重に行おうと思った ⑩
- (9) () 他人のものと自分のものとの区別をしっかりとつけなければならないと思った

(1)～(9)の各文の後にある①～⑫の数字は、授業前アンケート（図表3）の質問項目の番号であり、(1)～(9)の質問項目との関連を示している。この①～⑫の数字のうち、例えば③や⑨などは、その関連性から同じ数字が複数個出現している。

② アンケート結果について

授業後のアンケートにおいて、各質問項目に当てはまると回答した生徒の割合を図表6に表し、考察を加えた。

まず、生徒が「当てはまる」と回答した(1)～(9)の質問項目の平均は74.7%であり、全体として非常に高いことが分かった。

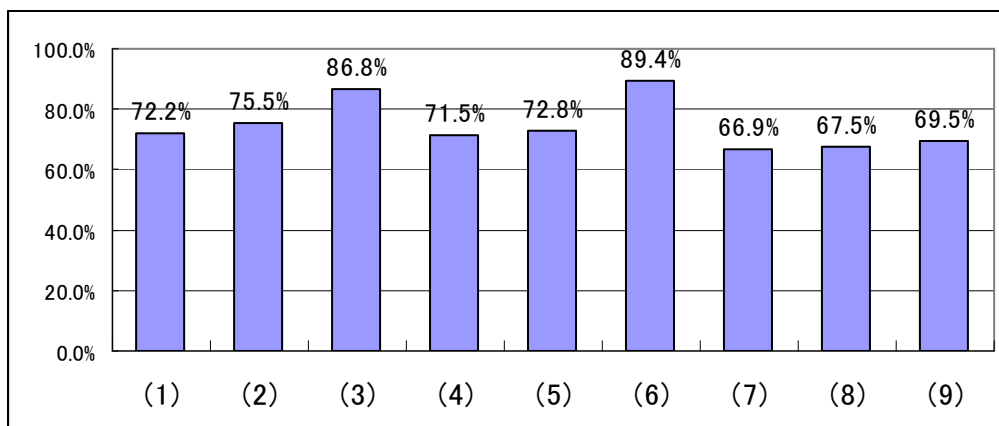
さらに項目別で見ると、「(6)著作権に気をつけないと、自分も知らないうちに著作権違反をしてしまうかもしれないと思った」に当てはまると回答した生徒は89.4%であり、最も割合が高かった。

(6)の質問は、授業前アンケートで予想以上に高い経験度を示し、看過できないと思われた「⑧ファイル交換ソフトを使った配信（ダウンロード）」に対するものであり、著作権（法）に違反することへの注意喚起ができたと言える。

また、「(3)他人が創作した著作物を自分のために使いたいときには、許可を得て使うことが必要だと思った」に当てはまると回答した生徒の割合も86.8%と高く、授業前アンケートにあった「③Web上にある写真やイラストの自己Webでの利用」「⑨Web上にある文章や友達の文章の自己の感想文への利用」などの行為に及んでは、他人の著作物の使用について許可を得るなどの適切な行

動へとつながることが期待できる。

図表6 授業後のアンケートにおいて、各質問項目に当てはまると回答した生徒の割合（回答数 151 名）

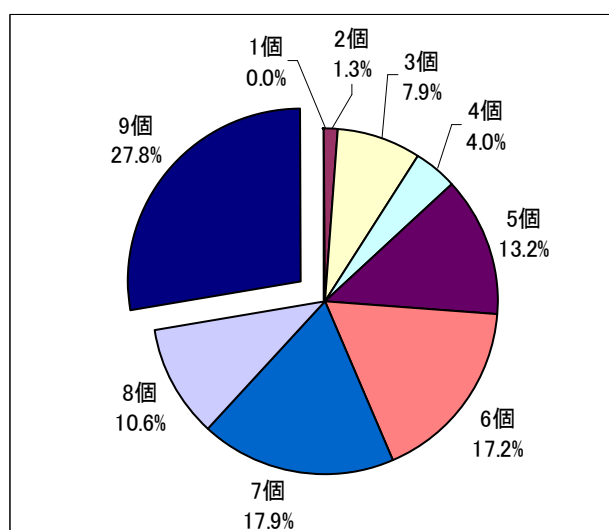


授業後のアンケートにおいて、(1)～(9)の質問項目に当てはまると回答した生徒一人あたりの個数に注目すると、9個全ての質問項目が当てはまると回答する割合が27.8%で最も多いことが分かった。(図表7)

また、当てはまると回答する生徒一人あたりの平均は6.7個であり、非常に多いと言える。

これらのことから、今回の授業が著作権について生徒の理解を促進するとともに、経験度の高かったCD(DVD)のコピー、他人の著作物の利用、映画のDVDやブランド品の購入などについて、慎重かつ法律を遵守した行動が必要であるとの意識付けができたと考えられる。

図表7 授業後のアンケートにおいて、各質問項目に当てはまると回答した生徒一人あたりの個数の割合（回答数 151 名）



(2) 授業後の感想

授業後の感想では、まれに難しかったという記述も見受けられたが、大部分は著作権について学ぶことができよかったと書かれていた。また、授業を受けて気づいたことや今後に生かしたいことなどについて書かれているものも多く、著作権意識の向上がうかがえる。その一部を以下に掲載する。

① 著作権を学ぶことができてよかった（知らないことを知ることができた）

- ・著作権も法律と同じで、知らなかったではすまされないから、もっと著作権について勉強すべきだと思った。これから先も必要なことだからとてめになる授業だった。
- ・今まで知らなかった権利や、曖昧に覚えていた権利をしっかりと勉強することができてよかった。これからは気を付けたい。
- ・著作権について勉強してみると、自分は知らないことばかりだった。また、やってはいけないことも分かったので、いい勉強になったと思いました。
- ・「自分も知らないうちに著作権を侵害していた」ということがないようにしたいと思いました。自分ではこれは著作権に反していないだろうと思ったことが授業を受けて間違いだと分かったのがよかったです。
- ・いっぱい権利のことが知れて良かったです。家族ともどもちょっとした行動に気を付けていきたいです。
- ・本当に身近な友だちが CD をコピーしたりしているので、止めてあげないと思いました。今学べてよかったです。

② 著作権について気づいたことがあった

- ・自分の身の回りで「これは著作権じゃないだろうな」と思っていることでも、著作権に関係のあることだったので勉強になりました。
- ・著作権には種類がいっぱいあるので、知らないうちに私も犯罪を犯していたのかも知れないと思った。
- ・ちょっとくらいいいだろう。と思ってとった行動が、著作権違反につながりかねないことがあるなあと考えた。
- ・一人一人が著作権のことを考えて行動すればけんかになったりしないで、平和に暮らしていけるんじゃないかと思いました。
- ・作った人本人の気持ちになって考えればいいと思った
- ・普段している画像のコピーなどは著作権侵害なんだと思った。これからは自分が気付いたことを少しずつ気を付けていきたい。
- ・これからはしっかり考えて行かなくてはいけないと思ったし、知らない人にも知って欲しいと思った。

③ 学んだことを今後に生かしたい（行動に気をつけたい）

- ・コピーするときや他人がつくったものを使うときは、許可を得てから使おうと思った
- ・著作権について学ぶことが多いな—と思った。犯罪者にはなりたくないな—と思ったので、やっていたいくつかはやらないようにしようと思った。
- ・著作権のことでいろいろ分かったので、日頃自分が簡単にしていることでもこれからは慎重に行いたいと思いました。
- ・今まで全く著作権に関して意識がなかったけど、詳しいことが知れて今後に生かせようと思った。
- ・著作者の意識をきちんと尊重したいと思った。CD の複製を行なうときの権利について気を付けたい。

4. まとめ

本アンケート調査の結果、著作権に関する授業によって、生徒の著作権意識には明らかな向上がみられた。このことは、情報モラルを担当する全ての授業者にとって有意義な結果であると思われる。

しかし、授業の後、直ちにアンケート記入を行うこともあり具体的な行動の変容にまで及んだ調査を実施することはできなかった。例えば、「CD のコピーについてどのようなことに留意するようになったか」「レポートを作成する際に他人の著作物を利用する場合はどのようにしているか」などについて、授業から一定期間の後に調査することも意義深いであろう。今後の課題としたい。